DAIWA

SALTIGA

取扱説明書

●安全上の注意

⚠注意

①ストッパーレバー付リールでストッパーをOFFにして釣っていたり、ワンウェイクラッチ部に注油したりすると、ハンドル、ローターが逆転し、手にあたりけがをするおそれがあります。十分にご注意ください。
また、キャスティング時には必ずストッパーをONにしてください。OFFのままキャスティングをすると、ローターが高速回転し、手にあたりけがをするおそれがあります。
(ストッパーON/OFF切換機構搭載の有無は、機種により異なります。)
②回転しているとき、回転部に触れないでください。けがをするおそれがあります。
③糸が勢いよく出ている時は、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。
④ローター、ボディ、ハンドルの隙間に指・衣服等が挟まると大変危険ですので、取扱いには十分にご注意ください。
⑤投げる際、ベールを起こすのを忘れたり、ハンドルがベールの返りやすい位置にならないようにしてください。仕掛けが出て行かず、けがをするおそれがあります。
⑥ドラグ付きリールで、遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。
⑦ドラグが作動し続けると、ドラグ部が高温になり、火傷をするおそれがあります。十分にご注意ください。
⑧乳幼児の手の届く所には置かないでください。予期せぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

●ご使用上の注意

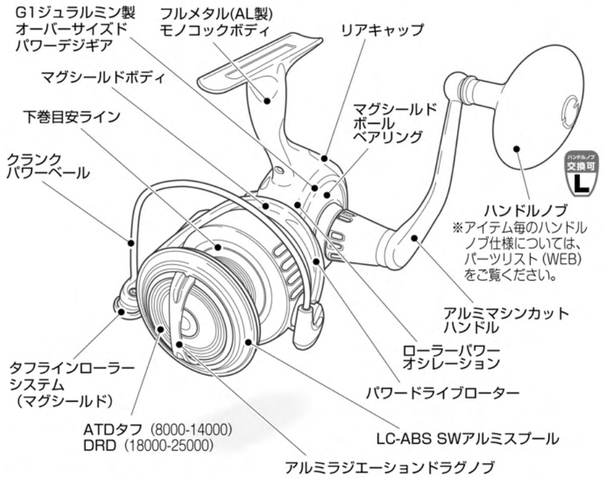
⚠注意

①本製品は釣具として開発されていますので、釣り以外の用途で使用しないでください。
②本製品は十分な強度基準で設計・製造されていますが、実釣時に想定以上の極端な負荷がかかるケースでは破損するおそれがあります。
③使用糸の径の大小、糸巻き時の張力の変化、作動クリアランスなどにより、表示巻糸量・巻糸状態との差異が生じることがあります。
④根掛かりした時は、竿をあおらず糸を棒状の物に巻き付け、引っ張って切るようにしてください。
竿をあおると、竿折れの原因になります。
⑤落下等の強い衝撃がかかると、破損する場合があります。
また、竿に装着した状態での落下等、竿尻に衝撃がかかった場合にも、リールの脚部が破損するおそれがありますので十分にご注意ください。
⑥シンナー、ベンジン、アルコール、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類などの有機溶剤は、本機の表面が変質したり塗装が剥げたりすることがあるので、ご使用にならないでください。また、上記が手に付いたままリールを扱うこともおやめください。
⑦リールを長期間保管するときは、水分を完全に切り、なるべく通風性のよい場所に保管してください。
⑧ドラグ付リールは、釣行後にドラグノブを緩めて保管してください。ドラグノブをきつく締めたまま保管すると、ドラグワッシャーが潰れ、性能が低下します。
⑨輸送時に強い負荷等がかかると、ベール等の部品が変形するおそれがあります。梱包状態や取り扱いには十分にご注意ください。
⑩リールの回転部にはグリスや油が付いてますので、服を汚さないように十分にご注意ください。
⑪分解作業は絶対におやめください。
⑫弊社純正部品以外の取り付けによる不具合は保証できません。また、弊社純正部品以外の部品が取り付けられたままでの修理は、場合によってはお断りさせていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。
⑬製品改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

●各部の名称

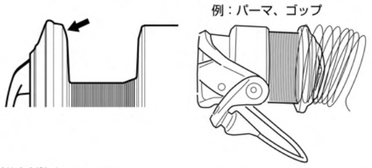
このたびはDAIWA SALTIGA をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
本機種は世界中の大型魚と安心して渡り合える高い信頼性を追求した設計思想「POWERDRIVE DESIGN」を採用した高機能スピニングリールです。
このリールを正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。

●付属品



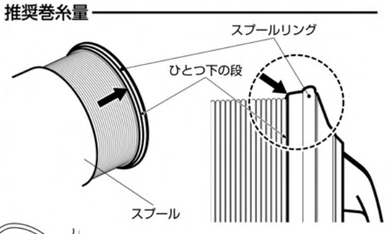
●スプール概要と糸の巻き方

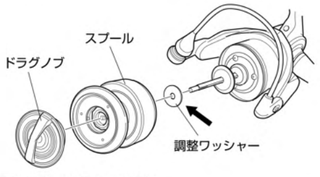
スピニングリールをご使用中に、よくあるライントラブルとしてバーマ、ゴップがあります。
LC-ABS SW は、ライン放出時のトラブルを抑制しつつ、飛距離を伸ばすスプール構造です。巻糸部分の形状を見直し、キャスト時の抵抗を軽減することで、より遠投性能を高めました。



■ LONG CAST-ABS SW 推奨巻糸量

スプールリングのひとつ下の段をこえないように巻かれることをおすすめします。下の段のエッジを越える位置まで糸を巻いた場合、または弱いテンションで糸を巻いた場合はバックラッシュを防ぐ性能が得られない場合がありますのでご注意ください。





■糸巻き時のご注意

ラインを巻く際は、下記ラインテンションでの糸巻きをお薦めします。

・PE3～5号：1kg
・PE6～8号：1～1.5kg
・PE10号以上：1.5～2kg
・下巻きを含むナイロンライン：500 g以下

⚠注意

LC-ABS SWによるバーマ、ゴップの解消率は、釣種・糸の状態・キャスト時のミスや風の影響などにより多少異なります。
以下のような場合は、LC-ABS SWの性能が十分に発揮されないことがあります。
1.糸を弱いテンションで巻いた場合
2.糸を標準巻糸量より多く巻いた場合

スプールにテンションを掛けすぎないようご注意ください！
推奨より高いテンションで糸を巻くと、スプール変形の原因となります。

●SALTIGAの特徴

POWERDRIVE DESIGN

パワードライブデザインは、世界中の大型魚と安心して渡り合える高い信頼性を追求した次世代大型スピニングリールの設計思想。このパワードライブデザインは、高効率で力強い巻き上げ力を実現するボディユニット[パワードライブエンジン]と、合理的な球体形状で剛性と低イナーシャの両立を実現したローターユニット[パワードライブローター]の2つのテクノロジーユニットからなる。ボディユニットの[パワードライブエンジン]は、[オーバーサイズドパワーデジギア]と[ローラーパワーオシレーション]の2つのテクノロジーによって構成される。[オーバーサイズドパワーデジギア]は大口径化・肉厚化と、最適化された歯面形状により、ギアの駆動効率を大幅にアップ。[ローラーパワーオシレーション]はオシレート機構にボールベアリング方式を採用することで、摩擦抵抗を大幅に低減し、初動レスポンスの向上と、軽い巻き上げを実現した。一方、フロントユニットは、[クランクパワーベール]と[タフラインローラーシステム]の2つのテクノロジーを搭載した[パワードライブローター]によって構成される。[クランクパワーベール]は、ベールの開閉力を強化するとともに、クランク形状を採用することで、ラインローラーへの確実な糸送りを実現。[タフラインローラーシステム]は、ラインローラーの支持構造や形状を見直すことで、耐久性やトラブルレス性を向上させた。これらのテクノロジーの相乗効果により、大型魚をターゲットとしたキャスティングゲームやジギングゲームにおいて、剛性・パワー・耐久性を高次元で実現する。獲るための“強さ”を、ビッグゲームを愛する、すべてのアングラーに。

■モノコックボディ

ドライブギアの両端を、高鋼性ボディと高精度プレートをねじ込むことで支持した構造。これによりギアの支持精度、剛性、さらには気密性も向上。また、従来よりもドライブギアのサイズを極限まで拡大することにも成功しました。

■マグシールド

「マグシールド」 は磁性を持つ液体を利用することで、磁性を持つ液体の壁を作り、水の浸入をシャットアウトする画期的構造です。 滑らかな回転はそのままに、水、異物の浸入を抑えることで初期回転性能を長時間持続します。本機種では、ボディ内部、ラインローラー部がマグシールド構造になっています。(本製品は完全防水ではありません。水に浸らないようごご注意ください。) イヤな塩ガミがなくなることで、長時間使用時の回転低下や異音を改善し、耐久性が大幅に向上します。

■マグシールドボールベアリング

独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。 磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング内部への水、異物の浸入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。本機種では、ハンドル軸に搭載し、防水、耐久性を飛躍的に高めることに成功しました。

■ATD TOUGH

高密度カーボンワッシャーに高性能・高耐久のオイルを含浸させることで、高いドラグ設定値でもドラグ効き始めの初期の食いつきを解消し、締め込んでもスティック（ムラ）のない安定した滑らかさを実現しました。
※特殊なオイルを使用している為、ドラグ部の注油の際は、アフターサービス部門へお出しください。

■DRD

長時間にわたり、幾度となく繰り返される大型魚の走りに耐え、高ドラグ域での摩耗損傷や焼き付きを防ぐ、全く新しいドラグ機構がDRD。従来のドラグに使用されているカーボンワッシャーに代わって搭載されたのは、1枚の金属プレートに8つの金属ローラーが装備されたDRDワッシャー。摩擦熱によるドラグ力の低下を抑え、耐久性はカーボンワッシャーの実に5倍以上をマーク。さらには滑り出しのスムーズさにも貢献している。
（※18000～25000サイズに標準搭載）

■LC-ABS SW

スプールリング形状を最適化することで、スムーズなラインの放出を実現するLC-ABSに対し、LC-ABS SWでは、スプール巻糸部上側面をスプールリングに向かって二段テーパー形状を採用。これにより、深い径から放出されたラインとの摩擦抵抗が軽減され、抜けの良いキャストフィールを実現するとともに、キャスト後半の放出性能がさらに向上。特に、キャストによる巻糸径の変化が大きい太糸使用時においては、約2%の飛距離UPに寄与。

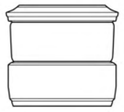
⚠注意

・ラインローラー部、ボディ部ともにマグシールド周り、マグシールドボールベアリングそのものへの注油および分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
・マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体（マグオイル）の壁により維持されております。
・マグオイルはやや多めに封入されているため、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがありますが、性能には影響ありません。
（表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。）
・マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なうおそれがあります。
・強力な磁石・磁力の発生するものは念のため、近づけないようご注意お願いいたします。また磁気を持つカード類（キャッシュカード）を近づけるとカードの機能を損なう可能性があるのでご注意ください。

●巻糸状態調整方法

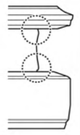
<標準巻糸状態>

バックラッシュを防ぐために、標準状態に近づくように付属のスプール調整ワッシャーを使用し調整してください。
※糸を巻くときの張力、使用糸の径のバラツキ等の条件の違いにより、巻糸状態が微妙に変化することがあります。



<標準巻糸状態調整時の目安>

糸を50m程度巻いた時に、前後端の糸巻径が等しくなるのが最適な状態となります。この時、LONG CAST-ABS SWの特性上、前後端がやや盛り上がる糸巻状態になります。

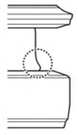


<前巻きすぎる場合>

スプールとメインシャフトの間に、付属のスプール調整ワッシャーを適当に追加して調整します。

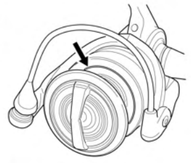
<後巻きすぎる場合>

スプール調整ワッシャーを抜くか、薄いタイプと交換して調整します。（但し、最低1枚はスプール調整ワッシャーを入れてお使いください。）



■下巻目安ライン

スプールには下巻に便利な目安ラインを付けました。
このラインは最大巻糸量の1/3を示しています。
※使用糸が少なめの時は目安ラインまで下巻きをしてお使いください。

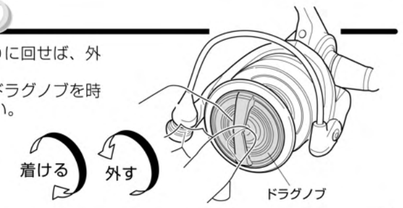


■モノフィラメントラインのご使用について

本機種はPEライン専用機種です。
そのため、モノフィラメントラインを使用すると糸ヨレが発生しライントラブルに繋がるおそれがあります。モノフィラメントラインを使用する際は、別売の専用ラインローラーへ交換してください。
※交換時は、弊社アフターサービス会社（株）スポーツライフプラネッツへお預けください。

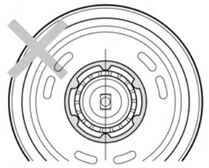
●スプール脱着方法

※ドラグノブを反時計回りに回せば、外れます。
※スプールを着ける際はドラグノブを時計回りに回してください。

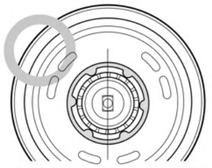


⚠ご注意

※ドラグノブの防水パッキンにより、ドラグノブが外れにくいことがあります。ドラグノブを充分緩めたところで、スプールを押えたままドラグノブを引っ張ると、簡単に外すことができます。
※本機種は機構上、ドラグノブを外した状態ではスプールクリック音が鳴りません。また、ドラグノブ組込直後は、スプールが一定量回転するまでスプールクリック音が鳴らないことがありますが、製品の使用上問題はありません。
※防水構造上、スプールを外す際にスプール調整ワッシャー類が外れる場合がありますのでご注意ください。
※ドラグノブを組み込む場合、スプールの回転位置（図1の状態）では組み込みができません。必ずスプールの回転位置を図2の状態にしてからドラグノブを締めてください。



× 図1：組み込めない状態
(6個の爪と軸のすり割り向きが一致)



○ 図2：組み込み可能な状態
(6個の爪と軸のすり割り向きがずれている)

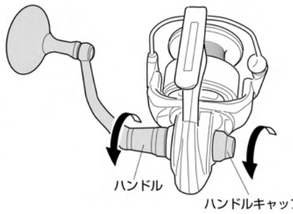
●スプール交換時の注意

25SALTIGAのDRD搭載アイテムは、DRD用に専用設計されたドラグノブを搭載しています。
スプール交換時は下記の点にご注意ください。

1. 25SALTIGA8000/10000/14000に
25SALTIGA DRD14000SPOOL（別売）を装着する場合、
ドラグノブを25SALTIGA DRDラジエーションノブ（別売）に交換してご使用ください。
2. 25SALTIGA18000/20000/25000はDRD専用ノブが搭載されています。
20SALTIGA18000/20000のATDタフ（カーボンドラグ）のスプールをそのまま使用可能ですが、ドラグ調整域が狭くなり、高いドラグ力が出やすくなりますので、釣り中の締付動作には十分ご注意ください。

●ハンドル左右切換方法

※運搬時はハンドルを外した状態でケースに収納してください。（専用ケースのポケットにハンドルを入れると便利です）
※ハンドルはスクリュー式の着脱になっています。使用中に緩み、落下しない程度にきつく締めてください。
（締付け目安：ハンドルノブに加える力８～10kg）
また過剰に締付けると、ギアが破損し回転性能が低下することがありますのでご注意ください。
※製品出荷時はハンドルは左仕様になっております。

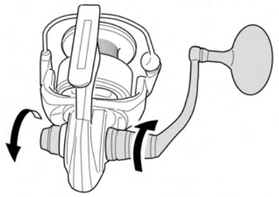


1 ハンドルを手で右（時計回り）に回して外します。

2 ハンドルキャップを、左（反時計回り）に回して外します。

3 ハンドルとハンドルキャップを入れ替えます。

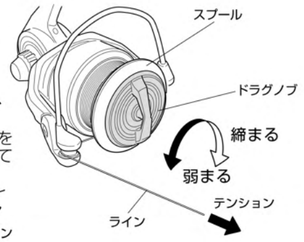
4 ハンドルを右（時計回り）に回します。ハンドルキャップを、右（時計回り）に回します。



●ドラグ調整

ドラグとは、締め付けを調整することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

※ドラグノブは右に回すと強く締まり、左に回すと弱くなります。
※リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調整してください。



※遠投する際には、ドラグが滑ると糸で指を傷つけるおそれがあります。必ずドラグをよく締め付けてから投げるようにしてください。

注意 ※ドラグ調整時はラインを素手で持たず、専用工具もしくは手袋やタオル等で手を保護してください。

『AFTER SERVICE』

特別なアフターサービス

25SALTIGA

① 担当マイスターによるリールカウンセリング
② 年1回のオイルチェック無料サービス
③ 消耗・故障部品代無料（修理・オーバーホール含む）
※期間2031年3月末日まで
※手数料 4,950円（税込）をいただきます。

「25SALTIGA」では特別なサービスを新たにご用意。

「25SALTIGA」の修理・オーバーホールは、
期間内であれば何度でも手数料 4,950円（税込）で承ります。
ご購入・ご登録いただいたすべてのオーナー様に対し、
より永く、そして快適に釣りを楽しんでいただくための
積極的なサポートを提供いたします。

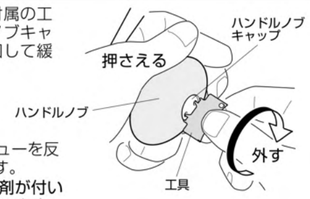
このアフターサービスプログラムをご利用いただくには、
「MyDAIWA」内のフラッグシップオーナーサポートシステムへの登録と、SLP PLUSへの会員登録が必要になります。

SLP plus

SLP PLUSとは、ダイワのアフターサービスセンター「SLP」の会員制サービスです。
今までSLPをご利用いただいていた方には、いっそう便利にご利用いただけように。
はじめてSLPをご利用いただく方には、
SLPが培ってきたプロの技術を存分に感じていただけるように。
入会費・年会費は無料。
ダイワの釣り具をより永く、大切にお使いいただくため、SLP PLUSをご利用ください。

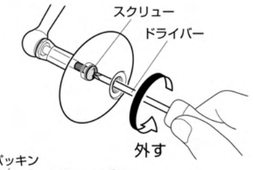
●ハンドルノブ交換方法

1 ハンドルノブを指で押さえ、付属の工具の爪を図のようにハンドルノブキャップの穴に入れ、時計回りに回して緩め外します。
※逆ネジです。

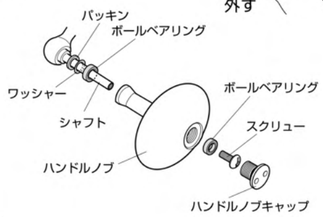


2 ドライバーでノブ内部のスクリューを反時計回りに回し、緩めて外します。
※スクリューには、ゆるみ防止剤が付いていて、ゆるみにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。

※ノブを取り付ける際は、逆の手順で行ってください。



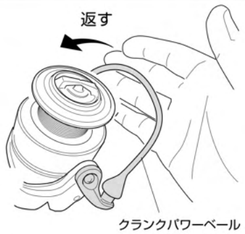
3 部品構成は図のようになります。



●マニュアルリターン

本製品はキャスト時のベール返りを完全に防止し、かつ耐久性の向上を狙い、ハンドル回転でベールが返らない機構になっています。
糸放出後は手動でベールを返してください。

※ラインローラーに糸が入る前に竿をあおるとベールが開くことがありますので、ご注意ください。



『パーツ情報』
パーツ情報については
【ダイワパーツ検索システム】
よりご確認ください

『カスタムパーツ情報』
カスタムパーツ情報については
【製品対応検索システム】
よりご確認ください

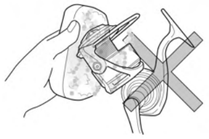
●アフターサービスについて
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はお買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料）　携帯電話からもご利用できます
TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00～17:00（土・日・祝祭日は除く）
ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます
www.daiwa.com/jp/
グローブライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

●お手入れ方法

⚠注意　リール性能が損なわれますのでおやめください！

●水洗いの際は、洗剤を使用しないでください。マグシールド機能を損ないます。また弊社製品「爽快釣行リールウォッシュ」についても同様に使用できません。ご注意ください。



●図に示すラインローラー、ハンドル軸（左右）、ローター内側への注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。

●本製品は完全防水ではありません。水に浸けての洗浄はおやめください。

●ボディとローターを分解してのメンテナンスはおやめください。

※市販の防錆潤滑剤のご使用は、結果的にギアやボールベアリング等内部パーツの耐久性を損なう可能性や異音等の発生の原因になることがございます。図に示すマグシールド周りの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。

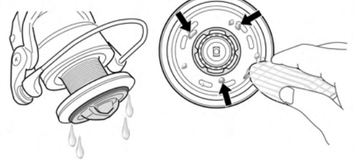
ご使用後のお手入れ

・ご使用後は外観部の汚れ、塩分をシャワー等で全体にまんべんなく真水をかけ、落してください。そして、よく水を切り陰干ししてください。尚、水洗いはドラグを締め、ハンドル、ハンドルキャップをつけた状態で行い、イラストのようにドラグノブの方向からのみ、水を掛けるようにしてください。

⚠注意
水洗いの際には、ハンドルを回転させないでください。

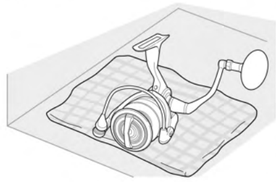
※本機種は、放熱性を高めるために、ドラグノブとスプールの間に隙間を設けておりますが、ドラグ機能には影響を与えない防水構造をとっておりますので安心してご使用いただけます。

⚠注意
●スプール部のお手入れ
1.ドラグノブ側から真水を十分に掛けた後、右図のようにリールを逆さまにして水を抜きます。
2.水が抜けたら、ドラグノブを外し、残った水分・塩分をよく拭き取ってください。



・よく水を切り、タオルなどで拭き上げ、陰干しをして乾かした後は通風性のよい場所に保管ください。

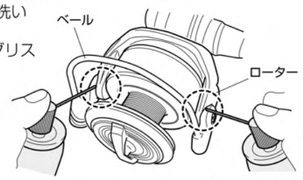
●保管方法について
①深い傷・打痕により表面処理を剥離してしまった場合には、耐蝕性が低下します。取り扱いにはご注意ください。
②釣行後は必ずリール本体をロッドから外し、上記のお手入れをしてください。ロッド（リールシート）に取り付けた状態のままでの保管は、お避けください。
③濡れた状態で保管しないようにご注意ください。例えば濡れたリール袋や竿ケース等に入れたまま保管する等はおやめください。



特に海水域でリールを使用した場合、錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後に必ずメンテナンスを行っていただくことが重要です。
但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により初期性能は低下する可能性があります。
本リールを末永くお使いいただくためにも、年に一度はオーバーホールに出されることをお薦めします（有料）。

●内部パーツは基本的にはメンテナンスの必要はありませんが、ベール等の作動部には水洗い後、図の要領で注油をお薦めします。
※推奨グリス：ダイワ純正リールガードグリス

【注油箇所】
1）ベール周り
図のように、ベールの付根とローターとの隙間にダイワリールガードグリスを両側共注油してください。



2）ラインローラー部
本機種のラインローラーは防水がなされています。
そのため、以下のことは絶対にしないでください。
①ラインローラー部のスクリューを外すなどの分解行為。
②ラインローラー部への注油。
（外からの注油も含む）
③強力な磁石・磁力の発生するものは念のため、近づけないようご注意お願いいたします。また磁気を持つカード類（キャッシュカード）を近づけるとカードの機能を損なう可能性があるのでご注意ください。

※ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、性能を損なう可能性があります。おやめください。
※万が一、海水に水没させてしまった場合は、水洗いを行ない、海水を完全に抜いてください。但し、内部に残った塩分により不具合が発生する可能性がありますので、販売店を通じて、速やかに（株）スポーツライフプラネッツに修理としてお預けください。

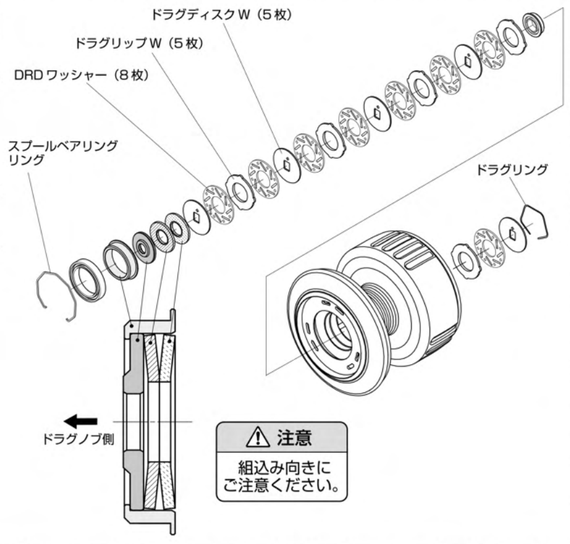
●DRDのメンテナンス

DRDは、金属ローラーを使用した高耐久ドラグです。
性能を十分に発揮させ安心してお使いいただくために、定期的なメンテナンスをお薦めします。
※メンテナンスは、DRDグリスをご購入いただきお客様ご自身で行っていただくか、弊社アフターサービス会社（株）スポーツライフプラネッツへお預けください。

【メンテナンス時期の目安】
・ドラグの作動に変化が見られる時（糸の出方や音など）
・ドラグ作動距離 2,000～3,000 m（ドラグ力 10kg 程度の場合。使用条件により異なります）

【メンテナンス方法】
1. スプールからスプールベアリングリングと、ドラグリングを外しドラグワッシャー類を取り出す。
2. DRDワッシャーとドラグリップW、ドラグディスクWの古いグリスをウエスを使用し拭き取る。
3. DRDワッシャーの表裏面に、DRDグリスを筆などを使い満遍なく塗布する。
4. スプール内に残った古いグリスを拭き取る。
5. 部品の順番、向きに注意して組み戻す。

【メンテナンス上の注意】
1. DRDのローラー全体がグリスで覆われるよう十分量を塗布してください。
グリスの塗布が少ないと、摩耗や焼き付きにつながるおそれがあります。
2. 本来のドラグ性能を発揮させるため、組み戻す際の部品の順番や向き、モレにご注意ください。
（右図にならって組み戻してください）（※右図は 18000～25000 番）
3. 分解作業時はピンセットなどの工具を必ずご使用ください。
手で直接分解を行うと怪我をするおそれがあります。



⚠注意
組込み向きにご注意ください。

Printed in Japan